

議会だより

8月



本格開催の食KING市(7月2日)まちかど議会カフェも賑わいをみせる!!

【森町議会6月会議】

- ❁ 条例・補正予算等審議 2P
- ❁ 町政のココが聞きたい! 7議員が一般質問 4P

【森町議会6月第2回会議】

- ❁ 財産の取得・工事請負契約の締結について審議 10P

【森町議会7月会議】

- ❁ 補正予算・工事請負契約の一部変更及び締結について審議 10P

【まちかど議会カフェ】..... 11P



▲森町議会
公式ホームページ



▲森町議会
YouTubeチャンネル

■発行/北海道森町議会 ■編集/広報広聴常任委員会小委員会

森町議会ホームページアドレス <http://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/bunya/gikai/>

〒049-2393 北海道茅部郡森町字御幸町144-1 ☎01374-2-2185 E-Mail gikai@town.hokkaido-mori.lg.jp

令和5年
第2回森町議会

6月会議

6月会議が、6月6日に開催されました。
6月会議で決まったものは次のとおりです。

報 告

◆専決処分した事件の報告

各会計予算における事務事業の執行精査により増減補正をしたものです。

- 令和4年度森町一般会計補正予算(第15号)
- 令和4年度森町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)
- 令和4年度森町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
- 令和4年度森町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)
- 令和4年度森町介護サービス事業特別会計補正予算(第5号)
- 令和4年度森町港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度森町ホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和4年度森町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)
- 令和4年度森町一般会計継続費繰越計算書の報告について
- 令和4年度森町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 令和4年度森町公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

条 例

◆森町防災行政無線施設条例の一部を改正する条例制定について

原案可決

防災行政無線施設のデジタル化が令和5年7月20日をもって完了するため、更新される無線施設の名称及び位置、屋内受信施設の指定する場所について、本条例の一部を改正するものです。

◆森町立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

原案可決

森町立石倉小学校を閉校とするため、森町立学校設置条例から石倉小学校を削るものです。

◆森町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案可決

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に変更となったことに伴い、人事院規則から防疫等作業手当の特例が削除されたため、同様の措置を講ずるよう関係条例の一部を改正するものです。

補正予算

◆令和5年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計補正予算(第2号)	▲1億6,601万3千円	114億8,855万3千円	原案可決

《主な事業》

- 森町電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金事業(9,950万7千円)
物価・賃金・生活総合対策として、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対して、緊急支援を目的とするものです。
- プレミアム商品券販売事業(696万5千円)
申込者全員に購入していただくため、販売予定数を超えた分について補正予算計上をしたものです。

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	89万4千円	24億1,051万5千円	原案可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	66万8千円	2億6,467万6千円	原案可決

会計別	補正額	総額	議決の内容
介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	88万円	21億8,023万8千円	原案可決
介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	907万円	2億7,474万6千円	原案可決
公共下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出 199万5千円 資本的収入 ▲1,000千円 資本的支出 ▲1,000千円	4億5,889万1千円 2億919万6千円 3億3,195万6千円	原案可決

同意

◆農業委員の選任について(15名・敬称略)

猪子 和博 ・ 石澤 良則 ・ 河野 芳之 ・ 高瀬 幸巳 ・ 佐橋 悟 ・ 皆川 毅
 加藤 秋彦 ・ 豆澤 俊二 ・ 瀬野 秀雄 ・ 甲田 祐康 ・ 小森 昭彦 ・ 宮本 秀逸
 中村 美美 ・ 青山 純司 ・ 黒澤 寿光

同意

その他

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

原案可決

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置に関する法律に基づき、濁川辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定しようとするものです。

◆財産の取得について【小型動力ポンプ付積載車】

原案可決

契約者氏名/株式会社 北海道モリタ 代表取締役 岩村純一 ・ 契約金額/24,200,000円

意見書

- ◆2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書 ……(賛成12:反対0)
- ◆地方財政の充実・強化に関する意見書 ……(賛成12:反対0)
- ◆義務教育費国庫負担制度固持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書 ……(賛成12:反対0)
- ◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書 ……(賛成12:反対0)
- ◆核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書 (賛成9:反対3)
- ◆女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書 (賛成10:反対2)

令和5年第2回森町議会6月会議 賛否一覧(反対のあった議案を掲載)

(○賛成 ・ ×反対 ・ 欠:欠席)

議件名	採決結果	伊藤昇	河野文彦	高橋邦雄	河野淳	山田誠	野口周治	斉藤優香	千葉圭一	佐々木修	加藤進	山本裕子	東隆一	松田兼宗	木村俊広
核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	△
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	欠	○	○	△

町政の **ココ**が **聞きたい!!**

一般質問 7議員12件

○一般質問とは・・・

議員個人が町に事務の執行状況や将来に対する考え方など報告説明を求め、適切な町政運営を進めているかのチェックや新規政策等を求めるものです。
(3・6・9・12月の年4回行っています。)

Q

どうする、町内会活動
チャットGPTについて
森町国民保護計画について

松田 兼宗 議員

5P



Q

公共交通空白地の解消対策について

山田 誠 議員

6P



Q

障がい児及びその家族への支援について

千葉 圭一 議員

6P



Q

高齢者の福祉対策について

東 隆一 議員

7P



Q

市町村都市計画マスタープランとまちづくりについて
森町の教育と歴史・文化について

斉藤 優香 議員

7・8P



Q

食King市の今後について

河野 文彦 議員

8P



Q

函館本線(旅客)廃止問題への対応方針について
新しい感染症への対応体制のあり方について
公共施設のトイレのあり方について

野口 周治 議員

9P



問 どうする、町内会活動

【松田 兼宗 議員】

町内会について、以下質問します。

- ①町内会の必要性についてどのように認識していますか。
- ②町内会の現状を把握していますか。
- ③職員の地域活動への参加を促す必要性があると考えますがいかがですか。(EX.地域担当制等)
- ④職員の町内会に対する認識を把握していますか。(意識調査の必要性)
- ⑤町内会への具体的な支援策が必要と考えますがいかがですか。

答 必要な支援を検討

【岡嶋 町長】

町内会は、地域課題の解決や住民同士の交流の役割を担っており、町民にとって一番身近な団体であり、地域福祉、防災、防犯意識の向上など、住民主体のまちづくりを進めていく上でなくてはならない大切なパートナーであると認識しています。役員の高齢化、担い手不足、加入率の低下は全国的にも課題となっており、森町についても例外ではなく、ここ数年のコロナ禍で町内会行事や会合が行えなかったことがこれらの課題を加速させたと認識しています。地域担当制度及び意識調査の実施については現在のところ考えていませんが、職員には積極的に町内会活動に参加するよう促し、必要な支援については町内会から要望を聞き今後も検討してまいります。

問 チャットGPTについて

【松田 兼宗 議員】

「チャットGPT」など、高度な人工知能(AI)に対する懸念の声が強まっており、開発の停止を求める声や、プライバシーの面から利用を規制する動きも出てきています。今後、世界中でAIの開発や利用の促進と規制のバランスについて議論されているが、「チャットGPT」といった文章や画像を作る生成AIは利便性の高さから急速に利用が広がっている状況で、業務の効率化の促進と慢性的な人員不足の状況を変える意味においても、今後早急に職員の利用実態を把握し、規則などによる設定で利用を規制しながら、積極的に利用促進を考えなければならないと思っておりますがいかがですか。

答 利活用を検討

【岡嶋 町長】

生成AIに限らず、一般的に新しい技術については、開発の振興、利活用の推進、適切な規制、3つの観点のいずれも重要であり、行政分野での利活用を推進するには機密情報の取り扱い、個人情報や著作権の保護といった課題が指摘されている中、利用方法によってはリスクが生じることもあるため、これらを踏まえて適切なルールを検討しなければならないと考えます。生成AIを森町の業務で規則等を制定した上で利活用を検討していきたいと考えております。

問 森町国民保護計画について

【松田 兼宗 議員】

国民保護法の施行に伴い、都道府県及び市町村は、国民保護計画を作成することが義務付けられ、森町においても2007年3月に「森町国民保護計画」が策定されています。そこで質問します。

- ①4月13日のJアラートを受けてからの森町の対応をお知らせください。
- ②町民からの問合せ等がありましたか。
- ③国民保護計画の見直し、変更は行われていますか。
- ④森町国民保護協議会の構成員及び開催数をお知らせください。
- ⑤国民保護計画の町職員の認識度と町民への周知度はどうなっていますか
- ⑥弾道ミサイル発射を想定した避難訓練を行う考えはありますか。

答 早急に改定作業を実施

【岡嶋 町長】

4月13日の対応は、ミサイル発射の情報を受け職員が参集、情報収集を行いました。この件に関し、町民からの問合せは特段ありません。森町国民保護計画の改定状況は、平成19年に計画を作成、平成22年3月に一部修正、現在に至っていますが、名称変更等の改正や国の基本方針や北海道国民保護計画の変更等があり、早急に改定作業を実施します。森町国民保護協議会の構成員は、指定地方行政機関の職員等総勢20名で構成、平成22年の計画の一部修正時に開催しました。職員には、計画内容の把握、発射情報受信時の対応、武力攻撃事態時の対処能力の向上を図っていきます。町民には、広報やHP等により周知し、避難訓練の実施は検討してまいります。

問 公共交通空白地の解消対策について

【山田 誠 議員】

人口減少、少子高齢化による生活様式の変化、通院や移動の足を確保し、公共交通空白地及び不便地域の縮小をすべきと考えます。特に、砂原地区5丁目、6丁目の住民及び尾白内地区の住民等は、函館バスの停留所までの距離が遠い方は400mから500mもあり、利用するのも大変な状況であります。

自動車運転免許証の返納者（毎年35名）及び独居老人の方々など交通弱者が増加する中、町民が公共交通を身近に感じる利用促進対策を取り入れ、まちづくりと連携した公共交通のネットワーク形成の実現に向け、町民、交通事業者、行政が協力しあいながらバス停の移動及びデマンドバス等の運行等の方法について取り組み、他人の手を借りず自分の移動手段で目的地まで行け森町に住んで良かったというような支援を行うべきで、安心して暮らせる森町をみんなで作り育てるべきと思慮いたします。町長の所見をお伺いいたします。

答 住み続けられるまちづくりにつなげたい

【岡嶋 町長】

人口変動や高齢化、そして生活関連施設の立地状況、居住形態などが変化していることから、バス停留所までの距離に影響が及んでいる状況と認識しており、様々な対応が必要であると考えております。

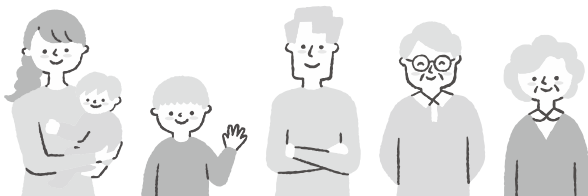
免許証返納者、そして地域にお住まいの方々の活動である買い物や通学、通院など、そういった動向をしっかりと踏まえ、担当課で意見を集約し検討を重ね、町民のニーズに沿えるよう努め、よりすばらしいもの、住んで良かった住み続けられるまちづくりにつなげていきたいと考えております。



問 障がい児及びその家族への支援について

【千葉 圭一 議員】

- ①森町での障がいや発達に障がいのある子どもやその家族への支援充実に向けて、現状の課題についてと今後の取り組みについての考えをお伺いします。
- ②生の声を聴けるのは森町ならではのと思います。その生の声を聴くことによる新たな課題収集に向けてどう取り組むのか考えをお伺いします。
- ③今後その課題等の情報の共有化とか関係部署等の場を設けて課題解決をしていく取り組みについて必要だと思いますが考えをお伺いします。



答 協働してこの福祉の環境を作っていく

【岡嶋 町長】

- ①今後、町としては養育を必要とされるお子様とご家族様を含め、すべての方がご希望される養育をお住まいの地域で受けられることを目指します。
- ②課題を抱えているご両親やご本人、皆さまの生の声が本当に必要でございますし、その方々のご協力も必要だと思っています。誰もが住み続けられる町づくり、未来に幸せと希望を見いだせる町づくりを実現していきたいと思っています。
- ③縦割りを排除した行政間の連携の必要性は私も感じておりました。そのような縦割りを排除した横のつながりで課題解決のためのプロジェクト推進チームを公的に設置します。

問 高齢者の福祉対策について

【東 隆一 議員】

町内におけるシルバー、シニア世代また身体の不自
由な方や運転免許証自主返納者などの方々の生活イン
フラの細やかな移動手段の配慮が重要と考えます。

遠方地域の住民の足確保として森町地域公共交
通バス運行事業が始まっておりますが、町中心地域
の近距離の住民の足の確保も必要ではないかと思
います。色々な支援メニューの用意をして選択メ
ニューの幅を持たせる必要があるのではないかと
思います。色々な支援メニューの用意をして選
択メニューの幅を持たせる必要があるのではない
か、その幅の中に近年近距離移動モビリティ
があります。近年近距離移動モビリティがあ
ります。町としてこれからどのような対策を講
じていくのか考えがあるのかお尋ねします。

いくのか考えがあるのか
お尋ねします。



**答 制度を継続しつつ、
事業内容についても検討**

【岡嶋 町長】

現在森町では高齢者や重度の障がいをもって
おられる方など外出支援サービス、介護認定
において生きがい支援通所事業を利用する方
への外出支援サービスまた利用者負担を軽減
するサービス、福祉タクシーなどの支援を行
っています。市街地中心地区の高齢者また移
動に少し支障のある方の近距離移動手段に
対し、その定義中々難しいところではあり
ますが、少し歩行が困難な方が家から出づ
らいと感じている方も非常に多くいるとも
感じています。世の中の技術革新も進み移
動に際しアシストする移動モビリティがあ
るのも私も承知しております。まず町内の
移動事業者を支えながら運行に携わってら
う仕組みづくりを優先していく考えでおり
ます。何かの機会に移動モビリティの試乗
体験等のイベントも必要なのかなと考
えておりますので、可能な限り検討させ
て頂きたいと思っております。

**問 市町村都市計画マスター
プランとまちづくりについて**

【斉藤 優香 議員】

老朽化に伴う町の公共施設の再編、再建が行われ
ようとしています。であるならば、市町村都市計画マ
スタープランを策定し、目指すべき町の全体像、将来
のビジョンを確立することが必要です。まちづくりの
理念、計画の目標、主要課題等を明確にし、町民の
意見を反映することのできるまちづくりをするべき
であると考えます。まちづくりは人づくりである
ならば、このたび町民参加型ワークショップ、木
からはじめる森のまちづくりでの道の駅YOU・遊
・もりの再開発や公民館、図書館の複合化の話
し合いは人づくりになったと思います。ワーク
ショップでの意見も参考に、新たに公共施設の
在り方について官民協働で現実に向けた取組
をし、愛されるまちづくりをしましょう。町長
の所見をお伺いします。

**答 改定を検討して
いかなくはない**

【岡嶋 町長】

森町都市計画マスタープランにつきましては、平成
4年の都市計画法の改正により市町村の都市計画
整備を示すことが義務化され、平成16年に策定
しており、これまでの町並み整備や展望を示した
もので現在に至っておりますが、20年近く経過
していることから次の策定について検討してい
かなければならないと考えております。一方、
新たな公共施設の整備につきましては、第2次
森町総合開発振興計画や森町公共施設等総合
管理計画を基本とした施設個別計画に基づき、
ご質問にありますように町民参加型の官民協働
での整備が必要であると考えております。



問 森町の教育と歴史・文化について

【斉藤 優香 議員】

人口減少が著しい森町において、人口が増えていく可能性として教育は大変重要であると考えます。教育行政執行方針の中でも、まちづくりと人づくりは表裏一体です。そして、様々な分野において前例にとられない柔軟な発想と行動が必要となっているとあります。具体的にどのようなことができるのかを検討しているのでしょうか。

町ならではの特色を生かしたほかにないような魅力的な教育の可能性、全国から森町の教育を受けてみたいと思えるような取組など、教育がまちづくりにつながるような施策の考えはあるのかお伺いします。

また、森町の歴史、文化はもっと積極的に保存、活用すべきと考えます。保管場所の確保と保全、公開、継承、教育など、町の取り組みかたについてどのように考えているのか教育長の所見をお伺いします。

答 ご意見を頂戴しながら取り組む

【毛利 教育長】

教育行政執行方針では、全国的な人口減少と少子高齢化の進行の中、今後のよりよい社会の実現のために生産活動や働き方、まちづくりなど様々な分野において前例にとられない柔軟な発想と行動が必要となっていることを述べています。教育は、こうした発想と行動を下支えする役割と考えております。教育は、そもそも人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われるものです。言い換えるなら個人の成長と社会のつくり手の育成を目的としております。具体的にどのようなことが出来るかについては、教育は幅広く、いろいろな考えや行動について成長、成熟を図る役割であることから、むしろ具体を生み出す機能と考えております。

問 食King市の今後について

【河野 文彦 議員】

もりまち食king市は10年以上にわたり開催され、賑わいをもたらす森町のイベントとして定着して来ました。物産展とも言えるイベントは地域特産品を多くの方々に知って頂き、購入して頂くためには重要でありますので今後も盛大に開催されることを期待しています。また、イベント時に会場にて購入して頂くだけでなく、継続的に購入して頂くような消費喚起、来町への動機付けなど、多くの可能性を秘めていると言っても過言ではありません。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いその賑わいは「密」という言葉に置き換えられ、通信販売等の需要が高まりを見せています。5月開催の予定が出店者不足で中止となったことを見ても感染や入込数に対する不安が大きいのではと考えられ、今後は出店者、来場者の不安を払拭する運営が求められていますので、出店者不足の原因分析、実行委員会との協議での方向性、開催時期や場所の再考等について質問します。

答 道の駅の集客力は大きい

【岡嶋 町長】

5月に開催予定でした食king市の中止につきましては、新型コロナウイルス感染症5類引下げ前の行動制限の影響や桜まつりと出店が重なったことで出店できなかったなど様々な要因により中止となりました。町及び実行委員会としましても、食king市は開催すれば町内外より多くの来場者を呼び込め、町の特産品をPRできる大切な機会と考えており、引き続き町内の新規出店者の掘り起こしや試験的に町の特産品を使用し商品を製造している町外の出店者など幅広く出店者募集の声がけを丁寧に行っていくことや、来場者に喜んでいただける催物を行っていききたいと考えております。開催時期、開催場所などの再考につきましては、食KING市の単独開催だけではなく、町内の各種団体と連携し、飲食イベントとの共同開催や開催場所につきましても道の駅や駅前大通りを活用し、人と人の触れ合いを大切にイベントづくりを今後行っていききたいと考えております。

問 JR廃線問題、対応は慎重に

【野口 周治 議員】

沿線自治体の会議の資料は、国や道の役割には触れず、地元を代替案の選択に誘導するものでした。そもそも赤字化は、民営化時に分かっていました。世界では鉄道を再評価し、設備は国の責任とする「上下分離」方式も採用しています。

代替案の前に、住民の立場で考え、周辺自治体と協力して、国と道が責任を持つよう働きかけるべきです。自治体間の違いによる「分断策」に乗せられてはいけません。最後には貨物線の問題で、また詰め寄られます。

新幹線が遅れるならその時間も使って。やり方で、後々の負担が変わります。

答 町の全体像の中で考えていく

【岡嶋 町長】

今後も町民の意見も踏まえ、渡島ブロック会議で、沿線自治体や道とともに国等への要望を検討します。

インフラは無条件に必要なものです。まちづくり、産業振興の全体像の中で展望を切り開き、批判を恐れず自分の言葉で説明していきます。貨物部門については別途論点整理が進められています。森港の活用との兼合いもあります。

日程に余裕が生まれるなら、別途、沿線首長と、国、道に働きかけます。

問 新型コロナの経験を生かして

【野口 周治 議員】

新型コロナは、社会の弱点を明らかにしました。森町では保健所などに一日中電話してもつながらず、某県では重症患者を施設で看取れと言われました。保健所数の半減、病床削減の結果です。基礎自治体には必要な情報が伝えられず、住民への情報提供も制限されました。

次のパンデミックの前に、問題を整理し国、道に働きかけ、町から住民への情報開示も改善するべきです。発熱外来、検査所の維持も必要です。正しく恐れ対応するには、情報は住民と共有するよう改善すべきです。

答 教訓を今後に生かしたい

【岡嶋 町長】

新型コロナは、課題をあぶり出しました。爆発的な感染拡大。医療、行政資源の消耗、逼迫。地域、経済の疲弊と回復。感染者数の公表は振興局と協議しましたが、実現しませんでした。

情報開示、医療体制や保健所における疫学調査、検査体制の充実など、国、道に求めていきます。やみくもな医療資源削減は簡単なことではないし、保健所についても必要に応じ訴えていきます。

私の就任時、心ない誹謗中傷への対応からでした。災害対応も含め、リスクコミュニケーションを重視します。

問 公共施設のトイレの改善を

【野口 周治 議員】

町長と教育長に伺います。トイレの問題は健康、尊厳の問題です。利用しにくい人がいてはいけません。

①便器数は利用者の男女比率で、②洋式便座化、③障がい者、トランスジェンダーなど誰もが利用できるトイレ、はどうですか。

町の声です。便座は消毒したい、荷物掛けは低い位置に、共通入り口は変質者が怖い、等々。目に見える改善が必要です。

「誰でも使えるトイレ」はほとんどありません。青葉ヶ丘公園の多用途トイレなど、性別表示もやめ、誰でも使えるようにしてはどうですか。

答 細やかに対応していきたい

【岡嶋 町長】

トイレに限らず、誰もが利用しやすいことは重要です。施設自体の老朽化などで、難しい部分もあります。

たくさん声を聞かれていることが分かります。ニーズを確認しながら、大きくお金はかけなくても、また全てはできなくても、手探りしながら細やかな心配りが見えるように取り組みます。

性的少数者の問題は、熟慮を要します。近隣に、方向性を示している自治体もありますが、まずは当事者の方々のお話も伺いたいです。

令和5年
第2回森町議会

6月第2回会議

6月第2回会議が、6月20日に開催されました。6月第2回会議で決まったものは次のとおりです。

その他

◆財産の取得について

以下の財産の取得について、法令の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

【移動式バスケットゴール 1対(2基)】

契約者氏名/有限会社キクヤスポーツ 代表取締役 古田 哲也
契約金額/9,130,000円

原案
可決



開館当初から使い続けて50年ほど。今回新しくなります。

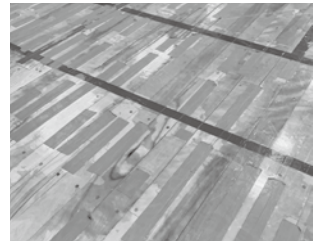
◆工事請負契約の締結について

以下の工事請負契約の締結をすることについて、法令の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

【森町民体育館施設改修工事】

契約者氏名/星組渡辺・西村鉄建 経常建設共同企業体
代表者 星組渡辺土建 株式会社 代表取締役 渡辺 洋司
契約金額/100,100,000円

原案
可決



令和5年
第2回森町議会

7月会議

7月会議が、7月10日に開催されました。
7月会議で決まったものは次のとおりです。

補正

◆令和5年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計補正予算(第3号)	942万5千円	114億9,797万8千円	原案可決

《事業》

●森町電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金事業(942万5千円)

本年6月会議において補正予算計上した低所得世帯に対する緊急支援について、扶養の要件を付さないこととし、対象者が増加することによるものです。

その他

◆工事請負契約の一部変更について

以下の工事請負契約の一部変更をすることについて、法令の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

【デジタル防災行政無線工事(砂原地区)】

ダイポールアンテナの設置数が減ったため、変更前の金額1億85万9千円から118万8千円を減額し、変更後の金額9,967万1千円にするものです。

◆工事請負契約の締結について

以下の工事請負契約の締結をすることについて、法令の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

【砂原中学校体育館改修工事(建築主体)】

契約者氏名/丸正佐藤・岩本経常建設共同企業体
代表者 有限会社 丸正佐藤建設 代表取締役 佐藤 敬司 ・ 契約金額/69,300,000円

R5年度 第1回 まちかど議会カフェ (7月の食KING会場内)

町民の皆様と議員が意見交換をすることができました。いただいた思いを行政にとどけていきます。

● オオズワイガニが捕れ過ぎて漁業被害がでているので支援策を考えてほしい(補助金など)

● 学校の閉校・統合などは早めに幅広くお知らせしてほしい。話し合いをしてほしい。

● 町の美化に寄与できるボランティア活動がしたい。

● スクールバスの安全性を重視してほしい。子供の教育に不安がある。

● 若者が集う遊べるイベントや施設がほしい。

● 交通のアクセス・・・森の中心街は便利になったが、それ以外も考えてほしい。

● 70歳からの就活が難しい。

● 企業を誘致してほしい。

● 役場の職員の地元採用(他市町からの採用が多いと感じる)。また、地元に住住してほしい。

● 公共料金等が上がり、生活するのが大変。

● 幅広い年齢の人が働ける場所がほしい。森の特産物をもっと増やしてほしい。

● 木や草、排水に関わる環境整備をしてほしい。



議 会 日 誌

令和5年5月20日から令和5年7月24日までの
議会の主な活動について、お知らせします。

令和5年

- 5月27日 花いっぱい運動・植栽
- 6月 1日 議会運営委員会
「6月会議に係る議会運営について」
- 6月 2日 広報広聴常任委員会
・議会だよりについて
・LINEWORKSの活用法について
・調査事項の確認について
- 6月 6日 令和5年第2回森町議会6月会議
- 6月16日 議会運営委員会
「6月第2回会議に係る議会運営について」
- 6月20日 令和5年第2回森町議会6月第2回会議
- 6月21日 森町戦没者追悼式
- 6月27日 道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会役員会
- 6月29日 花いっぱい運動・草取り
- 7月 2日 まちかど議会カフェ (食King市)
- 7月 3日 登別市議会視察研修
「タブレット (PC) による議案等審議について」
「議会改革 (DX関係) の取り組みについて」
- 7月 4~5日 北海道町村議会議長会主催議員研修会 (札幌市)
- 7月 6日 議会運営委員会
「7月会議に係る議会運営について」

- 7月 7日 民生文教常任委員会所管事務調査
◎保健福祉課
「高齢者対策について」
「高齢者等の健康支援事業について」
「緊急通報システムの現状と課題について」
「障がい者支援の現状と町の課題について」
「森町発達支援事業センター (あいあいクラブ) の状況について」
◎さくらの園
「施設運営状況と施設改修等の計画について」
「各 (係) 職員の勤務状況と課題、入所者の面会について」
- 7月 9日 令和5年度森町消防訓練大会
- 7月10日 令和5年第2回森町議会7月会議
- 7月11日 総務経済常任委員会所管事務調査
◎総務課「文書管理のあり方について」
◎防災交通課「改定森町地域防災計画について」
◎企画振興課
「地域おこし協力隊の現在の取り組みや今後の方向性等について」
◎商工労働観光課
「さくら祭りの今後の方向性について」
「移住支援金について (UIJ) ターン新規就労支援事業」
◎建設課「公用車の管理について」
- 7月16日 外ヶ浜港まつり2023 (青森県外ヶ浜町)
- 7月19日 新人議員研修
- 7月24日 広報広聴小委員会

北海道町村議会議長会主催議員研修会 (札幌市)

7月4日、札幌コンベンションセンターにおいて標記研修会が開催され議員14名全員が出席しました。全道の町村議会議員が一堂に会し、ひょうご震災危険21世紀研究機構 理事長 五百旗頭 真 (いおきべ まこと) 氏による「ウクライナ危機後の世界と日本」、政治ジャーナリスト 田崎 史郎 (たざき しろう) 氏による「日本政治の舞台裏」というテーマで講演を受けました。

この講演を通じて、世界情勢等広い視野で見えて考え、なおかつできる限り情報を収集し、その情報に基づき考えて行動する必要性を学びました。この講演で学んだことを活かし森町議会議員として活動していきたいと思えます。



また、7月3日に行われました「登別市議会視察研修」及び、総務経済・民生文教常任委員会 (7月7日、7月11日) については、次号 (11月1日発行予定) でお知らせします。